

新しい発達段階としての 成人形成期 (emerging adulthood) は妥当か

講演者：ジェームズ・コテ (James Côté) #
(カナダ ウェスタンオンタリオ大学)



司会：溝上 慎一 (京都大学)

講演概要

ジェームズ・コテ先生をお招きし、Arnett (2000) によって提唱された新しい発達段階「成人形成期 (emerging adulthood)」の妥当性について、最新の考えもふまえた講演をしていただきます。

成人形成期は、青年期を終えた後に迎えるとされる新しい発達段階で、成人形成期を受け入れることは、青年期とは異なる発達期を自分は研究対象にしているのだという宣言になります。なにより青年心理学会の存在意義にも繋がる大きな問題でもあります。国際的な情勢では、この10年、あまりその中身を理解することなくこの概念が広く使用されるようになっており、コテ先生の下記の批判的論文はこの流れに大きな警鐘を鳴らしたものとして話題になっています。成人形成期という概念を批判的に理解する機会にしたいと思います。

- ・ Côté, J. (2014). The dangerous myth of emerging adulthood: An evidence-based critique of a flawed developmental theory. *Applied Developmental Science*, 18(4), 177-188

*講演は英語 (通訳無し) でおこなわれますが、パワーポイントの資料には日本語もつきます。また、溝上が日本語でポイントを解説しますし、質問も日本語でけっこうです。気軽にご参加ください。

略歴：

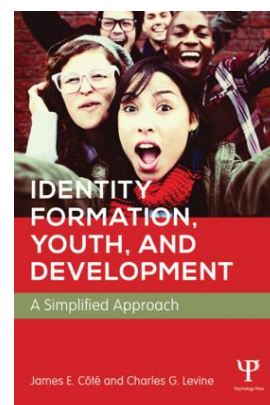
- 1977年 トレント大学（社会学・心理学）卒業
(Honours B.A., Sociology/Psychology, Trent University)
- 1981年 ウェスタンオンタリオ大学修士課程（社会学）修了
(M.A., Sociology, University of Western Ontario)
- 1984年 ヨーク大学博士課程（社会学）修了（博士）
(Ph.D., Sociology, York University, Toronto)
- 1984年 ウェスタンオンタリオ大学社会学部 助手
- 1990年 ウェスタンオンタリオ大学社会学部 准教授
- 2000年 ウェスタンオンタリオ大学社会学部 教授（現在に至る）

プロフィール：

カナダのウェスタンオンタリオ大学社会学部 教授。発達社会心理学を専門分野として、アイデンティティにおけるエージェンシーやアイデンティティ資本（identity capital）で著名な研究者です。大学で心理学を学び、大学院では社会学を学ばれたことから、青年心理学者として、若者社会学者として世界的にご活躍されています。元アイデンティティ学会（ISRI : the International Society for Research on Identity）の会長、国際社会学会の元若者社会学部門の会長。現在は Journal of Adolescence の副編集長をされています。

代表的な著書

- Côté, J. E., & Levine, C. G. (2002). *Identity formation, agency, and culture: A social psychological synthesis*. New Jersey: Lawrence Erlbaum Associates.
- Côté, J. E., & Levine, C. G. (2016). *Identity formation, youth, and development: A simplified approach*. New York: Psychology Press.



（新刊）